

【各班の発表内容】

A 班

- ・授乳室には状況によって色々なニーズがあるので、授乳できるだけでなく、搾乳できることも必要。男性が入りやすいように工夫する必要あり。
- ・若者にとっては、Wi-Fi、エアコン設置。夜明るいことで雰囲気向上する。その土地らしく素敵なデザイン→映えるに繋がる。
- ・見晴らしが良い5階を市民用として、1階を議場とし、5階を多目的ホールに入れ替えるような検討ができないか。若者がホールを駅の待合として利用するため、1階に議場があると、政治とのきっかけができやすく、関心を持たせることができるのではないか。
- ・市全体を考え、庁舎をつくることで起こる周辺の活性化への起点としての意見が多くみられた。

B 班

- ・情報を入力する掲示板に誰でもデジタル打込可能とすることで、思い込みや付度無く、観光客に情報を伝えることが出来る。
- ・多言語翻訳がポータブルで出来る設備（持ち運べるスマホなど）の設置。
- ・市庁舎で情報入手し、お店や施設の予約をしてから大田を堪能できたら良い。
- ・スーツケース用の大きなコインロッカーが大田駅にもないため庁舎1階に必要。
- ・駐車場は2階のみ市民用だが、土日に1階にもおもいやり駐車場が必要。
- ・中日つつあん等のイベント時は道路横断が難しいので、キッチンカーは道路を挟んだ南側に設置できた方が良い。
- ・イベント時だけではなく、日常的に名物が食べられる屋台があれば、観光客が寄り付きやすい。
- ・1階の授乳室は駐車場側でなく、駅通り側にあった方が良い。

C 班

- ・子育て世代は、飲食店が入るとしても高価な店やおしゃれな店は利用しづらい。
- ・行政手続きの際に子供を遊ばせられるキッズスペースがあると良い。
- ・子育て支援団体などが活動で使用する用品を置くことができるレンタルスペースがあると良い。
- ・学習スペースについては、周辺他施設のものを活用すれば良いのではないか。
- ・移住者がイベントや地域の良さを知ることが出来る施設。移住者はビジネスも行う人も多いので、詳しい人に繋いでくれるキーマンがいると良い。
- ・共通内容として、職員の対応の良さがポイントとなった。職員が働きやすさが対応の良さにもつながるので、窓口や待合が小さいとしても、結果的に市民の満足度は上がるのでは。
- ・現庁舎は入りづらく、そもそも市役所に子供を連れてくることがないとの意見があった。市役所をどう開放するか、入りやすさやまた行きたくなる庁舎を検討していく必要がある。